

needs 迅速に生産情報を追跡したい

複数メーカーの製造設備と生産管理システムを繋ぎ、 トレーサビリティにかかる時間を短縮

会社概要
 会社名 : 株式会社笠原成形所
 事業内容 : プラスチック成形業
 (自動車コネクタ部品、医療内視鏡部品等)
 従業員数 : 50名
 所在地 : 新潟県南魚沼市五日町 335-1

【お問い合わせ】

URL : <http://www.kasahara-im.jp/>

電話番号 : 025-776-2141

担当者 : 統括部 部長 関 正隆

背景
 ・これまで在庫、進捗状況などの製造に関わる情報管理を紙媒体で実施していたため、リアルタイムでの生産管理が困難で、保管に手間がかかるなどの管理が煩雑であった。また、必要な時に過去の製造履歴の迅速な確認が困難であった。

IoTを活用した課題解決の内容

- ・ 検討・導入期間 : 2004年導入。現在もカスタマイズを継続的に進めている。
 - ・ 開発者 : IT企業 (ムラテック情報システム株式会社)
 - ・ 開発コスト : 非公開
- ※ものづくり補助金(全国の中小企業団体中央会で公募)を活用し、システムをカスタマイズしている。

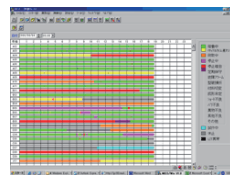
困りごと	解決方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙で生産記録を保管。 ・ 各機器の稼働状況のリアルタイムの把握が困難。 ・ 過去の注文・生産データの確認に時間を要する。 	<p>> 生産管理システム「MICS」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各機器をネットワーク接続し、稼働状況をリアルタイムで監視可能。 ・ 過去をさかのぼって注文・生産データの分析が可能。

特徴

A社機器 B社機器 C社機器

生産管理システム「MICS」

- ・ 異なるメーカーの成形機※1と接続が可能。
- ・ 各機器の稼働状況をリアルタイムで把握でき、過去をさかのぼって注文・生産データの分析が可能。
- ・ 今後の受注動向の予測に基づく在庫の確保や、製造調整等、効率的な生産管理が可能。



履歴管理画面の例

※1 成形機 : 金型を使ってプラスチックを加工する設備。

導入成果

- ・ 生産管理に関わる現場の作業負担軽減。
- ・ 一部の成形機をシステム活用により、無人稼働(異常発生時にのみ人が対応)。
- ・ 受注から発注までの業務を、各関連部門が同システムを利用することで、部門間連携の強化につながった。

成功したポイント

- ・ 既存の生産管理システムを、ものづくり補助金を活用し、かつIT企業のアドバイスを受けながら、自社の特性にあうシステムへとカスタマイズを重ねたこと。
- ・ カスタマイズ対応の際、外部IT企業と自社の両方にメリットのある体制で進めたこと。(例:自社の要望に基づきIT企業がカスタマイズ、IT企業はそれを参考に既存システムを改良)
- ・ 多くの従業員がシステム構築に携わり、全社一丸となって取り組んだこと。

今後の展開予定

- ・ 成形機だけでなく、その他周辺設備(製品トラッカー、材料乾燥機等)にもシステムを導入する(2017年システム導入、現在デモ運転中)。
- ・ 一部の成形機で実施している、本システムを活用した遠隔からの生産指示について、横展開する。